

避難時の注意点

この冊子の記事情報は、2024年8月現在のものを使用し作成しております。最新の情報は由布市のホームページよりご確認ください。

戸締り・ガス・火元・電気のチェック!

避難の際は、火の始末と戸締りを行いましょう。火災などの二次被害を防ぐために、できるだけ電気のブレーカーを落としたり、ガスの元栓を閉めてから避難しましょう。



速やかに避難を!

動きやすい格好で、2人以上で避難しましょう。災害に巻き込まれる可能性があるため、忘れ物などを取りに、家に帰らないようにしましょう。避難時の持ち出し品は必要最小限となるようにまとめましょう。



洪水・土砂災害での避難の仕方

歩ける深さに気をつける!

歩ける深さは平均約50cm。水がひざまで来たら助けを呼び、高い所で救助を待ちましょう!



履き物に注意!

裸足、長靴は禁物です。ひもでしめられる運動靴が良いでしょう。



もしも、土石流に遭遇したら 逃げ方に注意しましょう!

土石流は流れるスピードが速いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して、直角に逃げる等、逃げ方に注意しましょう。



分散避難とは...

- 災害発生時に、自宅が安全な場合、自宅に留まる方法(在宅避難)
- 安全な地域に住んでいる親戚や友人・知人宅や宿泊施設などに避難する方法

自然災害が発生した場合に、感染症などが流行している状況では、不特定多数の人が集まる指定避難所等での避難生活の感染拡大リスクが高まります。そこで、災害が発生したとき感染症による2次被害を防ぐため、また、風水害時に高齢者等が事前に避難する必要がある場合(注1)など、避難所に避難する以外の方法(分散避難)もご検討ください。具体的には以下のような方法が考えられます。

注1: 事前避難が必要な場合...警戒レベル3相当以上の気象状況(避難指示、高齢者等避難相当)

